

# 東北支部学術講演会

## 受賞者講演

### 座長集約

東北支部長 金沢 勉

日本放射線技術学会東北支部 令和5年度学術講演会を、2023年5月14日（日）に東北大学医学部 良陵会館記念ホールで行った。ハイブリッド形式としたので同時に配信も行い、参加者は161名（現地参加42名、Web参加119名）であった。I. 受賞者講演では令和4年度の東北支部の学術奨励賞を受賞した2名の受賞者から、受賞対象論文を元にした講演を行なっていただいた。

論文タイトルは以下の通りである。

①鈴木 陽 仙台赤十字病院

対象論文「Radiation doses to the eye lenses of radiologic technologists who assist patients undergoing computed tomography」

②石井 浩生 東北大学病院

対象論文「Occupational eye dose correlation with neck dose and patient-related quantities in interventional cardiology procedures」

両講演共に、日本放射線技術学会が日本医学物理学会と共同で創刊をした英語論文誌の Radiological Physics and Technology (RPT) に Research Articleとして掲載された論文である。特に普段の臨床業務をこなしながらの英語論文掲載は大変だったと容易に想像が付き、どのようなモチベーションで、具体的にどのように研究を進めていったかを掲載論文を例に挙げて講演をしていただいた。日本放射線技術学会は、放射線技術学を追求、発展させる学術団体であり、最終目標は論文の掲載にあると考えている。今回の受賞講演が会員の皆様にとって刺激となり、新たな研究や現在手がけている研究が最終的に成果（業績）となることを希望し座長集約とする。